

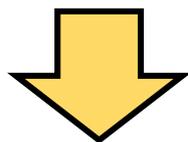
旧若杉小学校跡地の本格活用に関する ワークショップ（第2回）

令和6年12月15日（日）
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

第2回以降のグループについて

第1回ワークショップでは、第2回からのグループづくりのために、旧若杉小学校跡地の活用方法について、自分の想いや考えをワークシートに明文化していただきました。

ワークシートでは、地域の防災性を高めるためにできるだけ広いオープンスペースの確保を希望する意見や、駅近という立地からにぎわいの創出や地域の憩いの場を求める意見など、様々なアイデアをいただきました。



皆さんに記入いただいた内容を基に、活用アイデアが近い人同士などで次のページに記載の7つのグループを構成しました。

20241102 第1回旧若杉小学校跡地の本格活用に関するワークショップ ワークシート				氏名
●全部を書けなくてもOK。書けるところから書いてください。●終了後、提出していただきます。				
	旧若杉小学校をどんな場所にしたいですか？ (活用のイメージ)	そう思った理由はなんですか？ (目的・動機)	特に誰に来て欲しいですか？ (主な対象者)	それを実現すると、どんなまちになりそうですか？ (将来のまち)
1案				
2案				
3案				

第2回以降のグループについて

01 学び・文化

02 多様な居場所・交流

03 子ども・交流・活気

04 防災
広いオープンスペース

05 子ども・防災

06 多様な居場所・防災

07 にぎわい・交流

今後の進め方

第2回以降、このグループで旧若杉小学校跡地の本格活用の

「コンセプト」と「コンセプトに基づく活用方法」を
考えていき、成果物を作成します。

〔成果物イメージ〕

※各グループで1つ作成

group
01

コンセプト

●施設配置

POINT

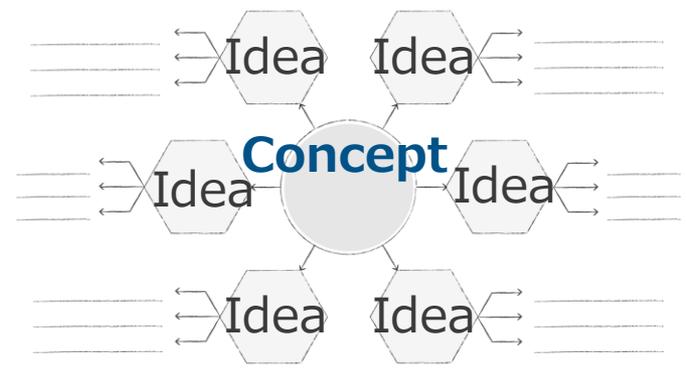
目指すべき将来像

残り 3 回の進め方

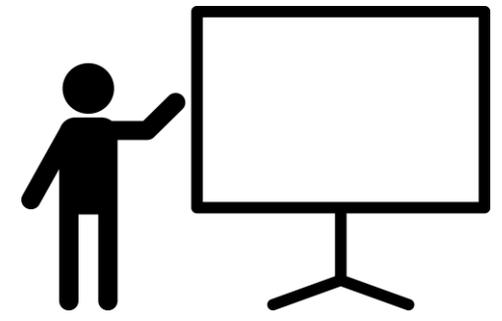
帰納的手法でアイデア発散→収束を進めます



第2回 (今回)
具体的なアイデア
の発散



第3回
コンセプトの設定
活用方法の検討



第4回
検討のまとめ
全体共有

具体的なアイデアを通じてお互いの思い・考えを汲み取る

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介
2. 情報提供
 - 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
 - 地域の子どもたちが考える活用方法
 - 区として考えられる活用方法
3. グループワーク 「感想共有」
〈休憩〉
4. 情報提供 「学識経験者からの事例紹介」
5. グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」
6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」
7. まとめ・諸連絡

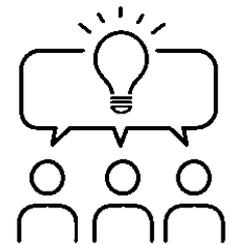
◆ 目指すのは正解ではなく、納得解

- 言い切った/きき（聴・訊）切ったを大切に



◆ この場での思い付きを大切に

- アイデアからアイデアを生み出す
掛け算の時間にする



チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介

2. 情報提供

- 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
- 地域の子どもたちが考える活用方法
- 区として考えられる活用方法

3. グループワーク 「感想共有」

〈休憩〉

4. 情報提供 「学識経験者からの事例紹介」

5. グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」

6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」

7. まとめ・諸連絡

1. 新チームでの自己紹介

- ① お名前・お住まい
- ② 最近あった小さな幸せ
- ③ 「よろしくお願ひします！」

…を順番に共有

- 1人60秒程度で順番に共有
- 1人終わるたびに温かい拍手をプレゼント



ゴール：時間内に全員の自己紹介が終わった

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介

2. 情報提供

- 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
- 地域の子どもたちが考える活用方法
- 区として考えられる活用方法

3. グループワーク 「感想共有」

この後、感想共有あり ▶ メモ推奨

4. 情報提供 「字識経験者からの事例紹介」

5. グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」

6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」

7. まとめ・諸連絡

活用方法の検討の流れ



地域課題の把握



活用方法の検討



活用方法の
ブラッシュアップ



ワークショップ参加者の
皆さんが考える活用方法



天沼小学校・天沼中学校の
皆さんが考える活用方法



区として考えられる
活用方法

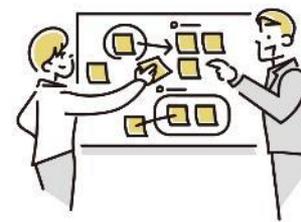
活用方法の検討の流れ



地域課題の把握



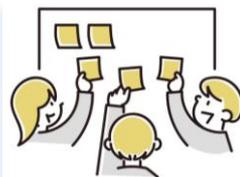
活用方法の検討



活用方法の
ブラッシュアップ



ワークショップ参加者の
皆さんが考える活用方法



天沼小学校・天沼中学校の
皆さんが考える活用方法



区として考えられる
活用方法

地域課題を踏まえたニーズ

「旧若杉小学校跡地活用に係る懇談会提言」や「旧若杉小学校の本格活用に向けた意見交換会」、これまでいただいた跡地活用に関する要望、周辺の区立施設の状況などを踏まえ、天沼地域における主なニーズは以下のとおりです。

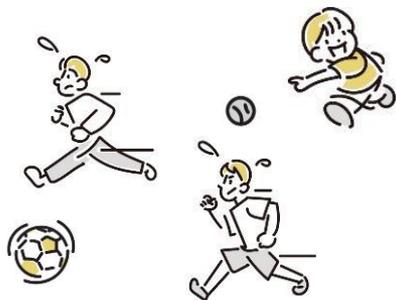
災害への備え



多様な世代の活動場所



ボールが使える公園



周辺施設の老朽化への対応



荻窪消防署天沼出張所

令和5～6年度に地元町会を対象に実施した、
旧若杉小学校の本格活用に向けた意見交換会において、
地域の課題の一つとして「荻窪消防署天沼出張所の老朽化」が挙げられ、
消防署の職員から情報提供を行っていただきました。

1 現状

- 荻窪消防署天沼出張所は築64年が経過し、老朽化が進んでいることから、東京都が令和4年3月に策定した「第三次主要施設10か年維持更新計画」において改築が計画されているところです。
- 「第三次主要施設10か年維持更新計画」とは、いわゆる「改築・改修の計画」であり、都有施設(東京都が保有する施設)の機能不全及び安全性の低下により、都民サービスに影響を及ぼさないよう、維持更新するための計画です。
- 荻窪消防署では、平成27年7月より天沼出張所の改築用地の情報収集を開始し、約9年間にわたり天沼、本天沼及び清水の各地区の「都有地(東京都が保有する土地)」、「区有地(杉並区が保有する土地)」、「民有地(民間の土地)」を調査、検討してきましたが、**現在まで改築用地の決定に至っていません。**
- 現在の庁舎は敷地面積が非常に狭く、必要な機能を整備することが難しいことから、別の場所での改築を検討しています。

2 現庁舎の状況

署所名	所在地	敷地面積 (所管)	延床面積	構造階層	建築年 (経過年数)
荻窪消防署 天沼出張所	杉並区天沼一丁目46番4号 (日大二高の東隣)	約384㎡ (東京消防庁)	約202㎡	鉄筋コンクリート構造 地上2階建て	昭和35年3月 (64年)

3 改築の必要性

- 天沼出張所は築64年が経過しており、東京都が示す目標使用年数(65年)を間もなく迎えます。
⇒ **建物の老朽化** ⇒ **新庁舎は、耐震強度の向上や浸水対策を強化する等、防災活動拠点として機能が強化されます。**
- 天沼出張所は、庁舎狭あいのため消防車1台のみの配置であり、防火水槽も未設置であることから、地域の行政需要に応じた庁舎が必要だと考えています。
⇒ **行政需要への対応** ⇒ **変化する地域の行政需要を考慮した新庁舎について検討することができます。**
- 都民に開かれた庁舎(バリアフリー、女性用トイレ、地域住民が防災訓練や救命講習等に活用できる訓練スペース、防災教室等)が必要だと考えています。
⇒ **時勢に即した庁舎** ⇒ **新庁舎では、区民等からの相談対応に配慮した「都民相談室」の設置や防災活動拠点として必要な諸室が整備されます。**



現庁舎全景



現庁舎入口及び階段
(入口の段差、狭い階段)



来庁者との打合せスペース
(現在は事務室の一角を使用)

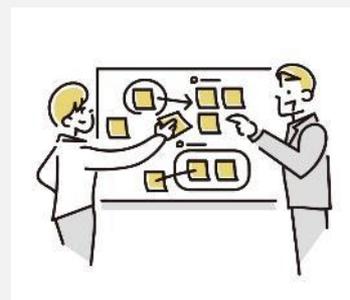
活用方法の検討の流れ



地域課題の把握



活用方法の検討



活用方法の
ブラッシュアップ



ワークショップ参加者の
皆さんが考える活用方法



**天沼小学校・天沼中学校の
皆さんが考える活用方法**

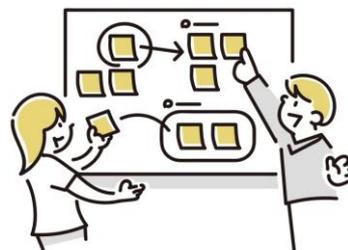


区として考えられる
活用方法

天沼小学校の皆さんが考える活用方法

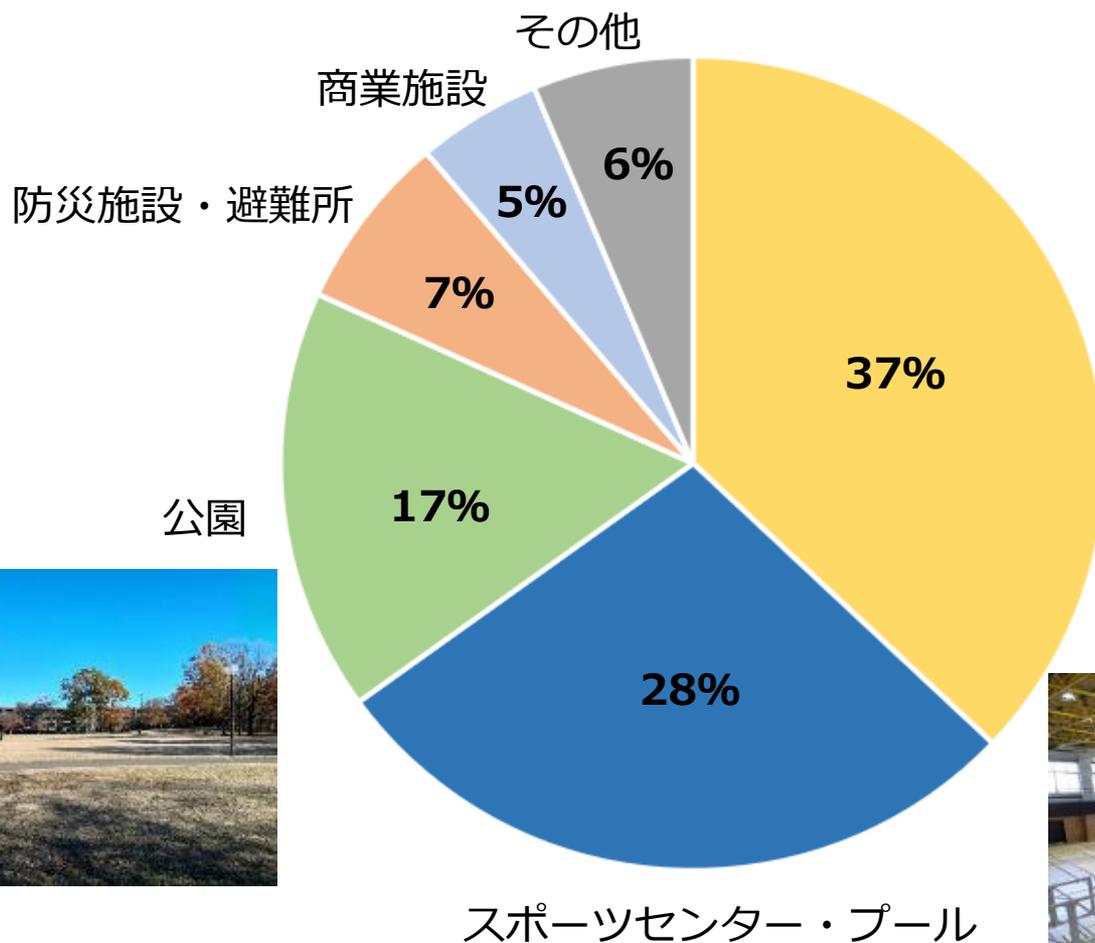
◆取組の流れ

- ① 6年生（120人）を対象に、「総合的な学習の時間」で旧若杉小学校の跡地活用について説明し、アンケートを実施しました。
- ② アンケートに加え、興味を持った2グループが、総合の授業で活用方法について検討してくれました。



天沼小学校の皆さんが考える活用方法

◆アンケート結果



屋内の遊び場（ラウンジ、カフェ、図書館など）



公園



スポーツセンター・プール

天沼小学校の皆さんが考える活用方法

◆アンケート結果（抜粋）

○屋内の遊び場（ラウンジ、カフェ、図書館など）

- ・天候によらず、屋内で友達と話したり、飲食やゲームをしながら過ごせる場所がほしい。
- ・静かに本を読んだり、友達と勉強できるような場所がほしい。

○スポーツセンター・プール

- ・屋内でボールを使って遊べたり、プールがあると嬉しい。

○公園

- ・ボールを使って遊ぶことができる公園がほしい。

○防災施設・避難所

- ・近くに大きな避難場所がないので、避難場所として活用すればいいと思う。

○商業施設

- ・駅から近いので、ホテルにすれば観光客が増えるのではないかな。

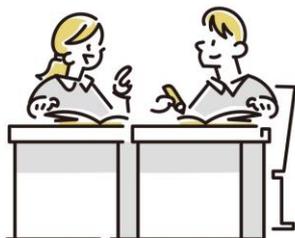
○その他

- ・老人ホームと公園を作り、高齢者の方と子どもが触れ合う機会を増やしたらいいと思う。

天沼中学校の皆さんが考える活用方法

◆取組の流れ

- ①生徒会の生徒に対して、旧若杉小学校の跡地活用について説明し、生徒会において、全校生徒を対象に活用方法についてアンケートを実施してくれました。
- ②アンケート結果を基に、生徒会の方に本日発表していただきます。



活用方法の検討の流れ



地域課題の把握



活用方法の検討



活用方法の
ブラッシュアップ



ワークショップ参加者の
皆さんが考える活用方法



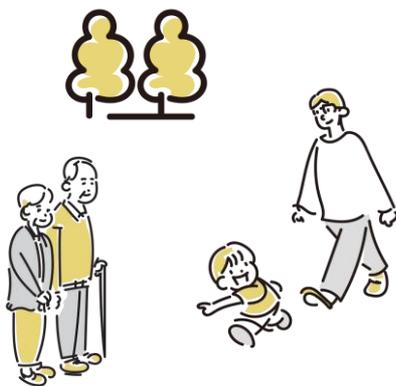
天沼小学校・天沼中学校の
皆さんが考える活用方法



区として考えられる
活用方法

区として考えられる活用方法

これまで把握してきた、天沼地域の課題を踏まえたニーズを基に、区としては旧若杉小学校跡地において、以下の3つの活用を検討しています。

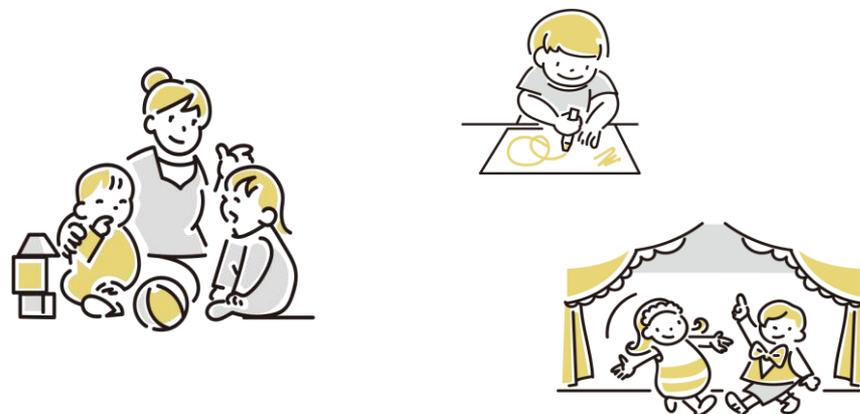


 Key word

防災 オープンスペースの確保

 idea

公園の整備



 Key word

子育てしやすい環境 子どもの居場所

 idea

上荻保育園の移転 上荻児童館の移転

①公園の整備

◆目標

区民1人当たり公園面積 **5m²**

◆現在の整備状況（令和6年（2024年）4月時点）

区立公園・児童遊園：336園

都立公園：5園

区民1人当たり公園面積：**2.27m²**

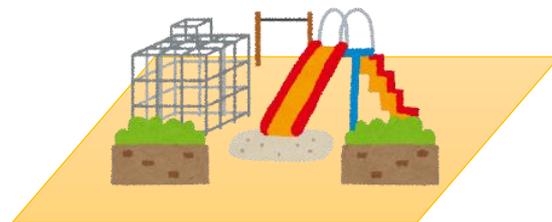
→旧若杉小学校跡地が所在する天沼地域の区民1人当たり公園面積は
僅か**0.61m²**に留まっており、新規での公園整備を目指しています。

※区立公園等は、小規模なものが多い。

・3,000m²未満の公園が**約9割**

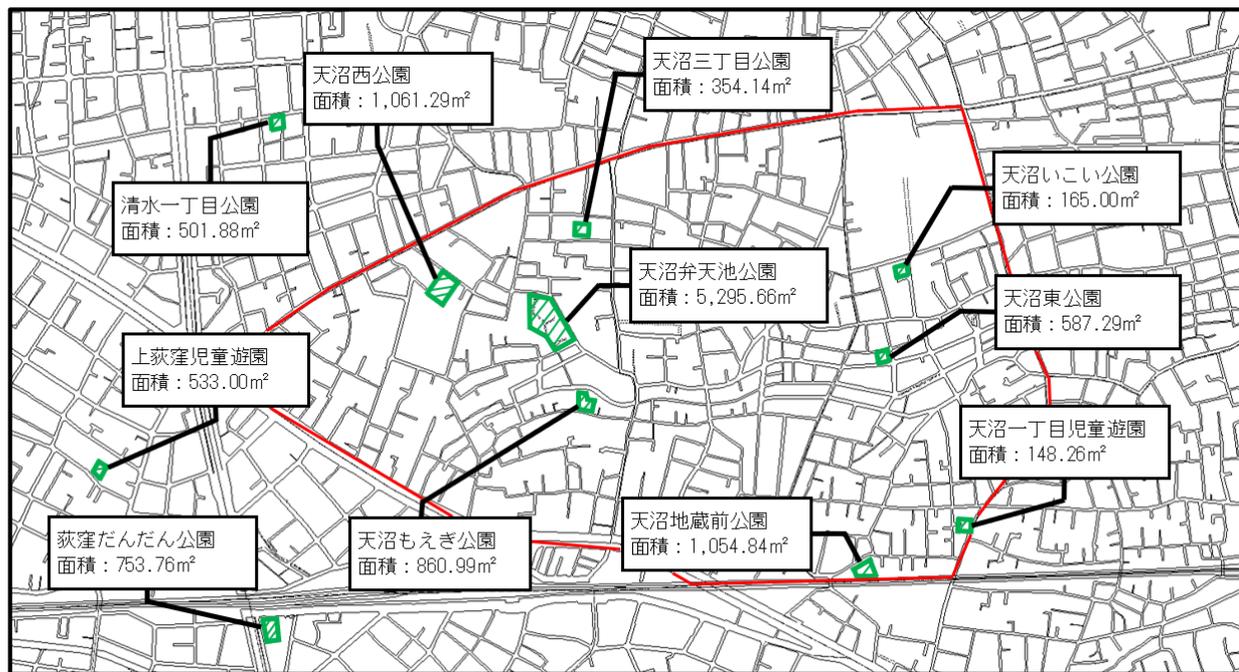
・500m²未満の公園も**約4割**

（テニスコート1面＝約260m²）



①公園の整備

◆旧若杉小学校跡地周辺の公園整備状況



 天沼地域
(天沼1丁目~3丁目)

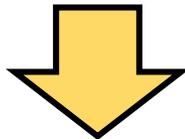
旧若杉小学校跡地に公園を整備することで、
平常時には子どもから高齢者まで幅広い世代の憩いの場となり、
発災時等には避難場所等として活用できると考えています。

② 上荻保育園の移転



◆ 区立園を維持する必要性

- ・ 私立園を含む、地域の保育園を支援する立場を担っています。
- ・ 増加傾向にある、障害児や医療的ケア児の受け入れ先としての役割があります。
- ・ 将来的な保育需要の縮小により、私立保育園の事業撤退が生じた場合の受け入れ先を確保する必要があります。



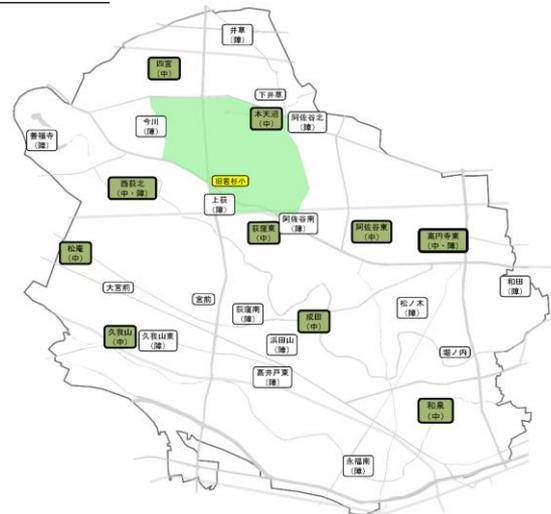
区立園は、その重要性が増していることから、当面の間、民営化や廃止を行わず現在の27園を維持していく方針です。

② 上荻保育園の移転



◆地域の保育需要

年度	定員	児童数	割合
令和4年度 (2022年度)	1,425人	1,301人	91.3%
令和5年度 (2023年度)	1,525人	1,365人	89.5%
令和6年度 (2024年度)	1,525人	1,391人	91.2%

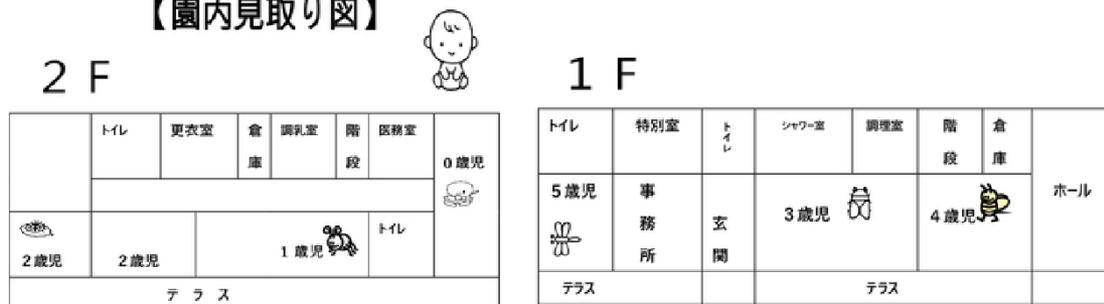


地域の保育需要は9割前後で推移しています

◆上荻保育園について



【園内見取り図】

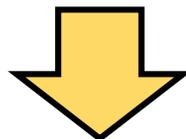


② 上荻保育園の移転



◆移転改築の必要性

- ・現在の施設が築50年を迎え、目標使用年数である60年が近づいており、改築を検討する必要があります。
- ・保育園は保護者の就労等により保育が必要な児童のための施設であり、休園することができません。
- ・現地で改築する場合、仮設園舎が必要になり、2度の移転により園児や保護者に負担がかかることや、整備費用が高額になります。



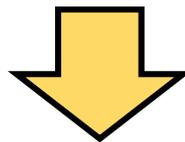
旧若杉小学校跡地に上荻保育園を移転することで、現在の場所から近いこと、仮設園舎が必要とならないことにより、園児や保護者の負担軽減や整備費用を抑えることができると考えています。

③ 上荻児童館の移転



◆ 児童館・学童クラブを維持する必要性

- ・ 小学校の児童数が増加傾向にあり、学童クラブの待機児童が多く発生しています。
- ・ 不登校者数は、この10年間で大きく増加しており、学校になじめない子どもが増加していることが見込まれ、多様な居場所の確保が必要です。
- ・ 要保護児童数がこの10年間で大きく増加しており、子どもの課題を早期に発見し、関係機関につなぐ児童館・学童クラブの役割の重要性が増加しています。



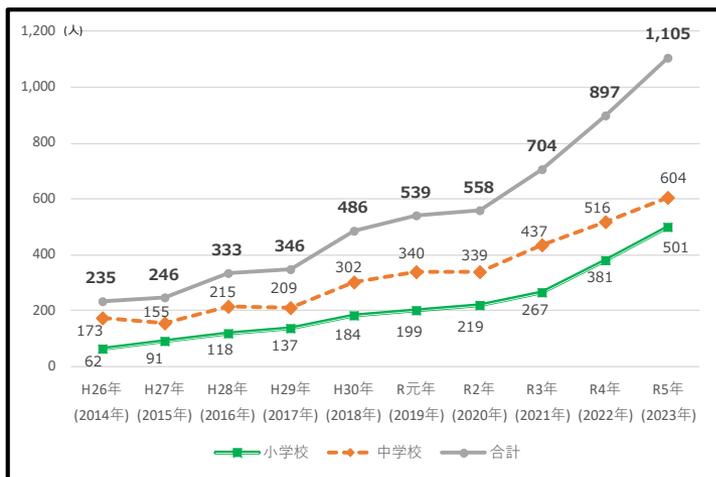
令和7年1月に策定予定の「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」において、今ある25の児童館をすべて残し、児童館の機能・役割を強化していくこととしています。

また、児童館のうち7館（7地域に各1館）を「中・高校生機能優先館」に位置付け、中・高校生の居場所を充実していきます。

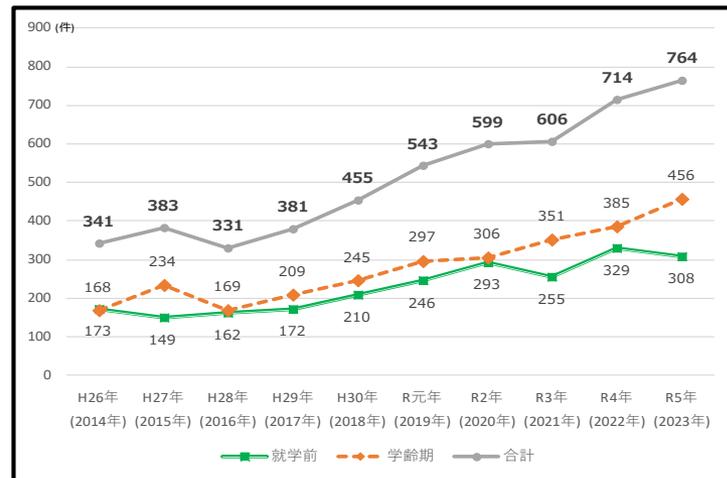
③ 上荻児童館の移転



◆ 区立小学校・中学校における不登校者数

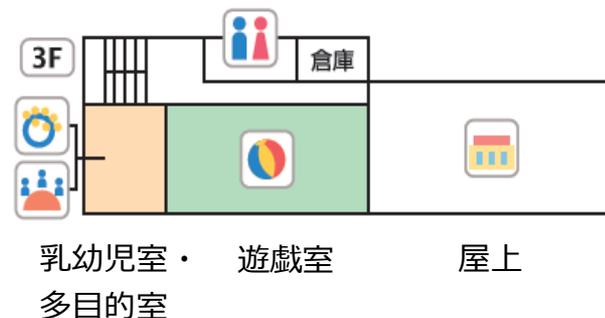
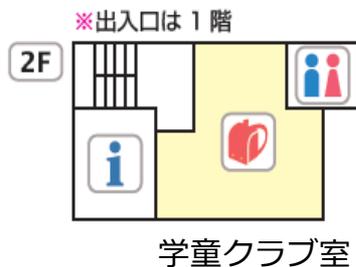


◆ 要保護児童 新規支援件数



不登校者数、要保護児童数は年々増加しており、児童館・学童クラブが果たす役割の重要性が増加しています

◆ 上荻児童館について

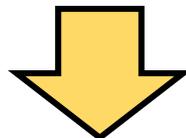


③ 上荻児童館の移転



◆移転改築の必要性

- ・現在の施設が築50年を迎え、目標使用年数である60年が近づいており、改築を検討する必要があります。
- ・学童クラブは、保護者が就労などにより、昼間留守になる家庭の子どもを対象にした下校後の生活の場であり、休館することができません。
- ・現地で改築する場合は、児童館は休館することになり、学童クラブは代替場所を確保する必要があります。



旧若杉小学校跡地に上荻児童館を移転することで、主な近隣小学校である天沼小学校から児童館までの距離が近くなり、利便性の向上を図ることができます。また、休館をしないことによる子どもの居場所の確保や代替場所の整備費用を抑えることができると考えています。

さらに、新たに整備する児童館を中・高校生機能優先館として位置づけ、荻窪地域の中・高校生の居場所機能の充実を図っていきたいと考えています。

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介

2. 情報提供

- 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
- 地域の子どもたちが考える活用方法
- 区として考えられる活用方法

3. グループワーク 「感想共有」

〈休憩〉

4. 情報提供

「学識経験者からの事例紹介」

5. グループワーク

「テーマについてのアイデア発散」

6. 全体ワーク

「グループで出たアイデアの共有」

7. まとめ・諸連絡

3. 感想共有

次に進むための確認・共有・もやもやの解消を行おう

●参加者

情報共有を聴いた上での、

- ・率直な感想、気付き
 - ・分からなかったこと、もやもやしたこと
- …を1人ずつ順番に共有する

●職員

- ・回答できることは回答、出来ないものは担当者に声掛け
- ・全員が一言は話せるようにタイムキープ

ゴール：時間内に全員が一度は発言することができた

休憩中



チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

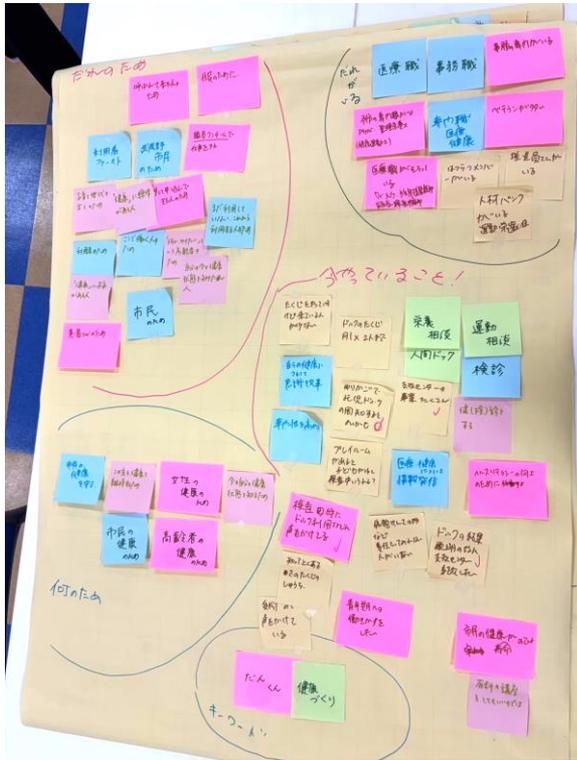
1. 新チームでの自己紹介
2. 情報提供
 - 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
 - 地域の子どもたちが考える活用方法
 - 区として考えられる活用方法
3. グループワーク 「感想共有」
〈休憩〉
4. 情報提供 「学識経験者からの事例紹介」
5. グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」
6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」
7. まとめ・諸連絡

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介
2. 情報提供
 - 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
 - 地域の子どもたちが考える活用方法
 - 区として考えられる活用方法
3. グループワーク 「感想共有」
〈休憩〉
4. 情報提供 「学識経験者からの事例紹介」
5. **グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」**
6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」
7. まとめ・諸連絡

5. グループワーク「テーマについてのアイデア発散」

チームメンバーと様々な可能性を想像しよう



テーマを踏まえて
「こんな機能が欲しい・必要だ」
「こんな場所にしたい」
…を理由を含めて付箋に出し切る

ゴール：チームでどんなアイデアが出たか発表できる

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

- 1. 新チームでの自己紹介
- 2. 情報提供
 - 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
 - 地域の子どもたちが考える活用方法
 - 区として考えられる活用方法
- 3. グループワーク 「感想共有」
〈休憩〉
- 4. 情報共有 **1グループ2分程度でざっくり共有**
- 5. グループワーク 「テーマに合わせたアイデア共有」
- 6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」
- 7. まとめ・諸連絡

チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についてのアイデアを出し切ったと感じられている

1. 新チームでの自己紹介
2. 情報提供
 - 地域の課題（荻窪消防署天沼出張所）
 - 地域の子どもたちが考える活用方法
 - 区として考えられる活用方法
3. グループワーク 「感想共有」
〈休憩〉
4. 情報提供 「学識経験者からの事例紹介」
5. グループワーク 「テーマについてのアイデア発散」
6. 全体ワーク 「グループで出たアイデアの共有」
7. まとめ・諸連絡

7. まとめ・諸連絡

- ① **本日の感想・気付き・感謝のきもち・もやもや**
…など、一言ずつみんなにお伝え
- ② **「ありがとうございました！」**
…を1人ずつ順番に回す

ゴール：時間内に全員が共有しきれた

7. まとめ・諸連絡

●アンケートの提出について

【インターネット】12月22日（日）までに入力

【紙】本ワークショップの最後に回収

●次回のワークショップについて

【日時】令和7年1月26日（日） 午後2時から5時まで（予定）

【会場】旧若杉小学校 体育館

【内容】・旧若杉小学校跡地の本格活用のコンセプトを考えよう！
・コンセプトに基づく活用方法を考えよう！

2024.12.15 (Sun) 14:00~17:00

旧若杉小学校跡地の本格活用に関するワークショップ

第2回 チーム全員が旧若杉小学校跡地の活用方法についての
アイデアを出し切ったと感じられている

お疲れ様でした！！



Active Learners
合同会社 Active Learners